

《会議録》

令和7年度(2025年) 第2回相談支援専門部会

開催日時: 令和7年7月17日(木) 10:00から12:00まで

開催会場: 越谷市役所エントランス棟3階会議室3-1

出席者: 部会員(事業所名のみ)

越谷地域生活支援センター有朋、こしがや希望の里、障害者相談支援センターテイク、
相談支援事業所A4、相談支援事業所えび、相談支援センター合、
越谷市障害者相談支援センターしらこぼと、ソーシャルワーカー事務所らでん、
相談支援事業所ひかりの森、相談支援センターつばめ、神明苑、
障害福祉サービス事業所かなめ、こども療育相談センターこしがや、
指定特定・障がい児相談支援事業所ゴールド、
相談支援事業所カルディア ビーマ、障害児相談支援事業所すまいる工房
相談支援事業所ひまわり越谷、らしくともに

※欠席事業所: Plus One、3250

事務局

越谷市障がい者等基幹相談支援センター・北部、東部、南部、西部、
障害福祉課、子ども福祉課

会議内容

(1) 基幹相談支援センターについての説明

事務局(基幹)より説明

【質問】基幹と委託の仕事の線引きは?

―ケースワークは委託、自立支援協議会や地域生活支援拠点事業は基幹、といった分け方ができるが、実際のところ基幹担当職員がケースワークから完全に抜けられていない現状もある。既に基幹が発足している地域からも、委託の相談が基幹にダイレクトに来る、などの困り感は継続しているもよう。今後、わかりやすい線引きができるか模索していく。

(2) 巡回相談、基幹相談サロンの報告

事務局(基幹)より説明。巡回相談については希望しない場合は遠慮なくお知らせいただきたいこと、次回の基幹サロンの日程および場所の案内。

【質問】前回の部会で説明があった「相談支援事業所の負担軽減策」について。児童の受給者証のコピーの共有についての進捗を知りたい。

―関連している課との兼ね合いで今すぐの実施が難しい。いつ、とも言いかねる状況。

【質問】市内での相談支援専門員の深刻な不足状況を憂慮し、採用活動を行ってきたがなかなか応募がない。雇いたいのだが経営的にも余裕がなく待遇面でも魅力ある条件の提示ができない。補助金などの施策を打って、不足の解消に市としてもご協力願えないだろうか? ―今後検討してまいります。

(3) 事例検討

4つのグループに分かれて ①強度行動障害があり事業所を転々としているケース②不登校児童で親も精神障害を有するケース③介護保険と障害福祉サービスを併用し、事業所を変え続けているケース④どこにいてもストレスが溜まりコントロールが効かないケース を検討。最後に気づいたことの発表を行い全体共有をはかる。

① 服薬調整、本人に選択させた上での視覚支援、行動援護などの一対一の支援、KPを作る、な

《会議録》

ど

- ② 学校への拘りを捨てる、不登校支援、通信・サポート校・フリースクールの見学、習い事での空気を吸う、など
 - ③ 事業所探しを自分で行ってもらい、支援者を大事にするよう伝える、友人などインフォーマルな支援の活用、など
 - ④ 十年単位で考える、困った時に都度傾聴し、過去の経緯をFBしながらどうするか一緒に考える、医療の助けを借りながら進めてゆく、彼氏や推し活などインフォーマルな支援、など
- (4) 就労選択支援について
- ・事務局（障害福祉課）より、過日市内事業所にて行われた就労選択支援セミナーのアーカイブ配信についてアナウンス。事業の成り立ちなど詳細についてはそちらも参考に。
- 【質問】この事業を請け負ってくれる事業所はあるのか？
- ー予定しているところはいくつかある。
- このほか、事業所からは、居場所としての就労継続支援事業所の機能も引き続き社会的に必要である、等の意見が出される。
- ・「しらこぼとフェスタ」の案内。
- (5) 新規開設事業所紹介

※次回開催日：令和7年9月18日(木)午前10時開始（予定）